

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第4区分

【発行日】平成19年2月22日(2007.2.22)

【公開番号】特開2005-186461(P2005-186461A)

【公開日】平成17年7月14日(2005.7.14)

【年通号数】公開・登録公報2005-027

【出願番号】特願2003-431140(P2003-431140)

【国際特許分類】

B 41 J 2/01 (2006.01)

B 41 J 3/407 (2006.01)

【F I】

B 41 J 3/04 101Z

B 41 J 3/00 F

【手続補正書】

【提出日】平成18年12月25日(2006.12.25)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

複数のレンズが形成された印刷メディアの非レンズ形成面または、印刷面側にレンズの幅相当のピッチを有した印刷メディアに対してインクを吐出・配置する印刷装置であって、前記インクを吐出する吐出口が複数形成される吐出ヘッドと、

前記吐出ヘッドが設置されるキャリッジと、

前記レンズの位置を検出するレンズ位置検出手段と、

前記検出手段の検出結果に基づいて前記キャリッジを所定の走査方向に移動するキャリッジ移動手段と、

前記走査方向と直交する方向に前記印刷メディアを移動する印刷メディア移動手段とを備え、

前記レンズ位置検出手段のセンサ部が、前記吐出ヘッドから前記走査方向及び当該走査方向と直交する方向に各々前記レンズの幅以上の距離離間された状態で前記キャリッジに設置されていることを特徴とする印刷装置。

【請求項2】

前記センサ部が複数設置されていることを特徴とする請求項1記載の印刷装置。

【請求項3】

前記印刷メディアはレンチキュラシートであることを特徴とする請求項1または2記載の印刷装置。

【請求項4】

所定の走査方向に移動されるキャリッジに設置されるセンサ部によって印刷メディアに形成されるレンズの位置を検出し、この検出結果に基づいて前記キャリッジに設置される吐出ヘッドから印刷メディアの非レンズ形成面に対してインクを吐出することによって印刷を行う方法であって、

前記複数のレンズの位置をまとめて検出し、その後前記吐出ヘッドから前記インクを吐出することを特徴とする印刷方法。

【請求項5】

前記印刷メディアはレンチキュラシートであり、前記センサ部を各レンズの延在方向と直

交する方向に前記印刷メディアに対して相対移動させることによって前記複数のレンズの位置をまとめて検出することを特徴とする請求項4記載の印刷方法。

【請求項6】

前記吐出ヘッドが前記各レンズの延在方向と交差する方向に配列された複数の吐出口を有している場合に、一方の端部に位置する吐出口から他方の端部に位置する吐出口までの距離以上にわたって前記複数のレンズの位置をまとめて検出することを特徴とする請求項5記載の印刷方法。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

次に、本発明に係る印刷装置は、複数のレンズが形成された印刷メディアの非レンズ形成面または、印刷面側にレンズの幅相当のピッチを有した印刷メディアに対してインクを吐出・配置する印刷装置であって、上記インクを吐出する吐出口が形成される吐出ヘッドと、上記吐出ヘッドが設置されるキャリッジと、上記レンズの位置を検出するレンズ位置検出手段と、上記検出手段の検出結果に基づいて上記キャリッジを所定の走査方向に移動するキャリッジ移動手段と、上記走査方向と直交する方向に上記印刷メディアを移動する印刷メディア移動手段とを備え、上記レンズ位置検出手段のセンサ部が、上記吐出ヘッドから上記走査方向及び当該走査方向と直交する方向に各々上記レンズの幅以上の距離離された状態で上記キャリッジに設置されていることを特徴とする。